

医療計画目次			目標値	現行計画策定時	達成状況（直近値）	達成状況に対する評価・検証
大項目	中項目	小項目				
第3部 医療提供 体制の整備	第1章 保健 医療施設の整備 目標	第3節 地域医療支援病院の整備 目標	○地域医療支援病院数 2次医療圏に1か所以上 (12圏域)	(平成25年3月) 7医療圏 15病院 未整備 5医療圏	(平成29年8月) 8医療圏 20病院 未整備 4医療圏	○地域医療支援病院については、 2次医療圏に1か所以上整備 するという目標に対し、 8医療圏で整備し、未整備は4医療圏 となっており、目標は達成できなかった。今後は、未整備の医療圏（海部、尾張中部、西三河北部、東三河北部）について、地域における病診連携の推進を図り承認要件に適合するよう、承認申請への支援をしていく。
	第3章 救急医療対策		○救命救急センターの整備 2次医療圏に原則として複数設置	(平成24年10月) 18か所	(平成29年8月) 22か所 複数設置 6圏域 未設置 2圏域	○救命救急センターについては、原則2次医療圏に複数設置するという目標に対し、 6医療圏で複数設置 した。今後は、各2次医療圏の医療資源や医療機関の状況を鑑み、救命救急センターの要件を満たす医療機関の指定を目指していく。
	第4章 災害医療対策		○新たな指定要件を満たす災害拠点病院数 36病院	○災害拠点病院数 34病院 (平成24年4月1日) ○新たな指定要件を満たした病院 9病院	(平成29年8月) ○災害拠点病院数 35病院 (公立西知多総合病院を追加指定) ○新たな指定要件を満たした病院 29病院 【新たな指定要件】 ・耐震化 ・衛星携帯電話の配備 ・自家発電装置 通常使用量の60% 燃料3日間 ・医療用水の確保(1日間) ・備蓄(食料・医薬品等 3日間)	○災害拠点病院は、災害時における医療の要となる病院であり、施設機能や人的医療資源などの要件を満たす病院は限られるため、 36病院とする目標は達成できなかった 。 今後も地域の中核となる病院の状況を踏まえ、災害拠点病院の更なる指定を検討していく。 ○平成24年度に国から示された指定要件を満たしていない6病院に対して施設・設備の充実強化を図るよう指導していく。
第5章 周産 期医療対策	第1節 周産期医療対策	○総合周産期母子医療センターの整備 名古屋・尾張地区でさらに整備 東三河地区で1か所の整備 ○MFICUの整備 名古屋・尾張地区でさらに整備 東三河地区で6床の整備 ○NICUの整備 180床から210床程度	(平成24年4月) ○総合周産期母子医療センターの整備 4か所 (名古屋第一赤十字病院 名古屋第二赤十字病院 名古屋大学医学部附属病院 安城更生病院) ○MFICUの整備 27床 (名古屋第一赤十字病院 9床 名古屋第二赤十字病院 6床 名古屋大学医学部附属病院 6床 安城更生病院 6床) ○NICUの整備 144床	(平成29年8月) ○総合周産期母子医療センターの整備 名古屋・尾張地区 1か所整備 (名古屋市立大学病院 平成27年4月1日) 東三河地区 1か所整備 (豊橋市民病院 平成26年4月1日) ○MFICUの整備 名古屋・尾張地区 12床整備 (名古屋市立大学病院 6床 藤田保健衛生大学病院 6床) 東三河地区 6床整備 (豊橋市民病院 6床) ○NICUの整備 165床	○総合周産期母子医療センターの整備 名古屋・尾張地区で1か所、東三河地区で1か所整備し、 目標を達成 した。 ○MFICUの整備 名古屋・尾張地区で12床整備、東三河地区で6床整備し、 目標を達成 した。 ○NICUの整備 「180から210床程度」に対し、平成28年度末 現在165床であり、目標は未達成 となっているが、出生数が減少傾向にある現状を踏まえ、実情に応じた整備をしていく。	

医療計画目次			目標値	現行計画策定時	達成状況（直近値）	達成状況に対する評価・検証
大項目	中項目	小項目				
第6章 小児医療対策	第1節 小児医療対策 第2節 小児救急医療対策		<ul style="list-style-type: none"> ○小児集中治療室（PICU）の整備 22床以上 ○小児救命救急センターの整備 1施設 	（平成24年4月1日） <ul style="list-style-type: none"> ○小児集中治療室（PICU） 2床（名古屋第二赤十字病院） ○小児救命救急センター 0施設 	（平成29年8月） <ul style="list-style-type: none"> ○小児集中治療室（PICU）の整備 22床 あいち小児保健医療総合センター 16床 名古屋市立大学病院 6床 ○小児救命救急センターの整備 あいち小児保健医療総合センターを指定 （平成28年3月31日付け） 	<ul style="list-style-type: none"> ○小児集中治療室（PICU） 2病院で20床が整備され、目標を達成した。 ○小児救命救急センター あいち小児保健医療総合センターが救急棟を整備したことにより指定基準を満たしたため、小児救命救急センターとして指定し、目標を達成した。
		第7章 へき地保健医療対策	<ul style="list-style-type: none"> ○代診医等派遣要請に係る充足率 100% 	（平成21年度） 99.0% 105件の要請に対して、104件の代診医等派遣の実施	（平成28年度） 100% 132件の要請に対して、132件の代診医等派遣の実施	へき地医療支援機構において、へき地診療所に勤務する医師が研修などで不在となる際に、へき地医療拠点病院と調整し代診医などの派遣を行っており、 平成28年度は、目標を達成した。 （平成27年度99.2%、平成26年度97.6%、平成25年度100%） ついては、へき地医療拠点病院によるへき地診療所への代診医等派遣が円滑に行われるように、へき地医療拠点病院における医師確保などに引き続き努める。
		第8章 在宅医療対策	<ul style="list-style-type: none"> ○在宅療養支援診療所 780か所 ○訪問看護ステーション数 400か所 	<ul style="list-style-type: none"> ○在宅療養支援診療所 589か所（平成24年1月） ○訪問看護ステーション数 339か所（平成24年4月） 	<ul style="list-style-type: none"> ○在宅療養支援診療所 751か所（平成29年1月） ○訪問看護ステーション数 579か所（平成29年4月） 	<ul style="list-style-type: none"> ○在宅療養支援診療所 目標値に対しては、平成29年度末までに達成が可能な伸び率で推移している。一方で依然として全国と比べて低い水準にあることから、引き続き在宅医療に参入する医療機関の増加に努めていく。 ○訪問看護ステーション数 目標を大幅に超えて達成した。在宅医療において中心的な役割を担うため、今後も訪問看護ステーションの充実に努めていく。